

3月5日のウクライナ情報

安齋育郎

●クリミア半島住民の命綱「水」(2023年3月1日)

2014年にアメリカのジョー・バイデン副大統領とヴィクトリア・ヌーランド国次官補の指揮のもとでウクライナで起こったのは、選挙で選ばれた正当な大統領を暴力的なクーデターで首にし、ネオナチがはびこる親EU・NATO政権を樹立したことだった。ポロシェンコ親米傀儡政権のもとで、「ウクライナ語を話すウクライナ人」と「ロシア語を話すウクライナ人」が区別され、前者が後者に民族浄化的軍事弾圧を加えるドンバス内戦が起きた。

このため、ドンバスのロシア語圏の民族は、ロシアへの加盟を求める住民投票を行ない、ロシア連邦への帰属を求めたが、キエフ政権による残忍な内戦によって1万5千人(内訳を含めていくつかの数値がある)が死亡した。

2014年、クリミアは住民投票を行い、97%がロシアとの統合に賛成したが、国連はこれを無効とし、ウクライナの極右民兵はロシア語を話す半島への食料と水の封鎖を開始した。

2014年にウクライナがダムを建設し、クリミアの淡水の85%を封鎖した。

<https://twitter.com/i/status/1630626299965509632>



クリミア半島に食料などの物資を運ぶのにも厳しい検問を受ける

●元駐欧州米軍司令官のクリミアについての見立て(2023年2月7日)

イエスマンの兵士たち。「今年の夏にクリミアを解放できる、その後に全てが崩壊する。クリミアは鍵だ」。ベン・ホッジス元欧州駐留米軍司令官。「ドンバスはあなた(ロシア?)のものになるでしょう。私はウクライナが2023年8月末までにクリミアを解放できると信じている」



●「きたない爆弾」製造の準備か、ウクライナに放射性物質届く(2023年3月1日)

ウクライナ南部オデッサとチェルノモルスクの港に、挑発行為の準備に使用される可能性がある放射性物質が届けられた。

ロシア外務省のザハロフ報道官によると、同省は、オデッサ州の港に放射性物質が搬入されたことを示す情報に注目している。

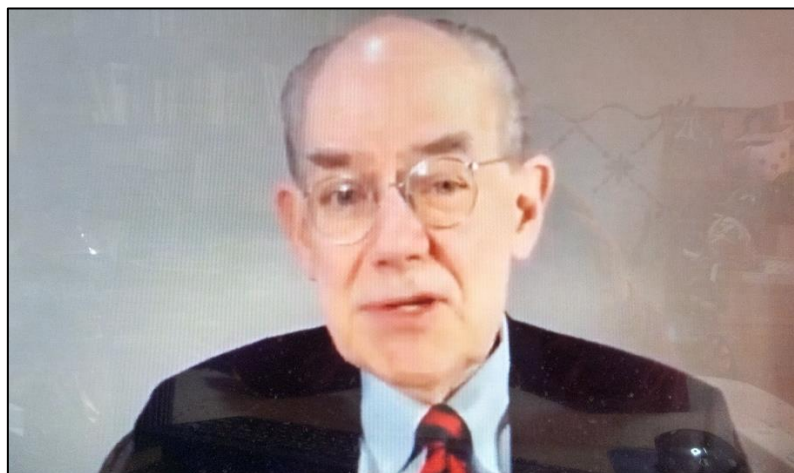
16日、放射性物質が入ったコンテナが、欧州のとある国から税関検査を回避してチェルノモルスク港に搬入された。19日には、放射性同位元素「カリホルニウム252」が入った類似のコンテナが、とある乾貨物船でオデッサ港に搬入されたという。

ウクライナでは弾薬や「ダーティボム」の製造に関わる部品があるのではないかと懸念が出ていると、ザハロフ氏は関連する調査報道を引用して指摘している。



●ミアシャイマー教授「ノルドストリーム爆破に対米従属のドイツは“多少文句を言う程度”か」(2023年3月1日)

<https://youtu.be/rTZizo1Yvo>



※ツイッター・コメント:アメリカは国際的なテロを行った-しかも同盟国に対して。事前に脅し(「大物」の記者会見での質問に対する答え)、その後事実上認めた(ヌーランドの議会証言のコメント)。国際法の正当な制度があれば、二人とも起訴されて訴追されるだろう。(大量殺人を犯したというのも誇張ではないと思っている)しかし、そうならないことは分かっている。私はアメリカ人だが、この犯罪には憤りを感じる。

※ツイッター・コメント:ノルウェーはどうなんだ、NATO のトップはノルウェーなんだぞ。しかも、パイプライン爆破にも関与している。国際裁判所は関与しないのでしょうか？

●中ロ外相の会談(2023年3月1日)

セルゲイ・ラブロフがニューデリーで中国の秦剛新外相と初会談。



●ロシア・ベネズエラ関係(2023年3月2日)

ロシアは多くの努力とリスクを冒し、クーデター未遂時にベネズエラを支援し、石油禁輸を回避しました。ニコラス・マドゥロがウラジーミル・プーチンを助ける時が来ました。

ロシア連邦安全保障理事会のニコライ・パトルシェフ書記は火曜日にベネズエラのニコラス・マドゥロ大統領に迎えられた、と地元の報道機関は報じた。

会議には、セルゲイ・メリク・バグダサロフ駐ベネズエラロシア大使とカリブ海諸国のウラジミール・パドリノ・ロペス国防相が出席した。

2008年以來パトルシェフはロシア連邦安全保障理事会の書記を務め、1999年から2008年までFSBの局長を務め、優れた交渉者として知られており、困難な時期にはこの面でロシアのセルゲイ・ラブロフ外相に取って代わることがよくあります。

タイミングは完璧です。マドゥロは現在、石油貿易に対するアメリカの禁輸措置に対する勝利に関連して非常に気分が良い。ワシントンは経済制裁を解除し、その傀儡である並行するフアン・グアイド大統領を政治から排除した。

マドゥロはロシアのおかげで米国を打ち負かす

ベネズエラ大統領は、もちろん、彼の鋼鉄の神経、軍と治安部隊の支援、そして大部分はロシアの支援のおかげで勝ちました。最も困難な瞬間に、2019年にグアイドがベネズエラで権力を掌握する作戦の準備をするよう国の住民に呼びかけたとき、ロシア連邦はそこに62機の航空機を送りました-100人の空挺部隊を備えたIl-124といくつかの秘密装備を備えた軍用輸送機An-<>。

2020年3月、下院はベネズエラへの4億ドルのローンの再編に関する合意を批准しました。

ロシア連邦はまた、ベネズエラの石油のアジアへの輸送に従事する国家構造を作成し、カラカスが

米国の石油禁輸を回避することを可能にしました。

昨年 11 月、アレクサンドル・ノバク副首相が率いる代表団の訪問中に、両当事者は、今後、健康、エネルギー、海上輸送、および薬物との闘いの分野での協力に関する協定に署名しました。

国境近くの米国を混乱させる時が来ました。

「私たちは、共通の発展を支持して、両国が支援するさまざまなレベルの協力を検討しています」とマドゥロはパトルシェフの訪問についてコメントして書いた。



●アメリカは、中国がロシアを支援した時の対中制裁の可能性を確認中(2023年3月2日)

ロイター：米国は、中国がロシアを支援した場合、同盟国が対中制裁を行う用意があるかどうかを確認中。



●「中国は私たちの敵じゃない」(2023年3月2日)

アメリカ市民も頑張っています。

<https://twitter.com/i/status/1631103837464584194>



●メキシコ大統領がブリンケン国務長官w批判(2023年3月2日)

メキシコのロペス・オブラドール大統領:「憚りながらブリンケン国務長官に申し上げる。現在、メキシコは米国より民主的だ。米国は干渉主義に基づいた行動で我々の内政に干渉するという、同じ政策を取りたがっている。なぜならペルーで起きていることを心配しているからだ」。

<https://twitter.com/i/status/1630772256539553792>



※ツイッター・コメント:ペルーでは米国大使がクーデター勢力の顧問になって自由と民主主義を踏みにじっている。きちんと物を言うアンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール大統領、文句なしでビバです。

●ドイツ国防相の発言(2023年3月1日)

3月1日、ドイツ国防相ピストリウスは「我々は防衛可能な、つまり攻撃的で残忍な戦争から(自国を)防衛できるような軍隊を持っていない」と発言。人員、装備、武器の不足を挙げ、「皮肉に聞こえるかもしれないが、ドイツの武器が今ウで命を救っている」。



●ロシア第 155 海軍歩兵旅団によるウクライナの戦車破壊(2023 年 3 月 3 日)

ロシアの第 155 海軍歩兵旅団は、乗組員が脱出した後、開いたままのハッチから手榴弾を投下し、ウクライナの UKR T-72 戦車を完全に破壊しました。弾薬が爆発しました。

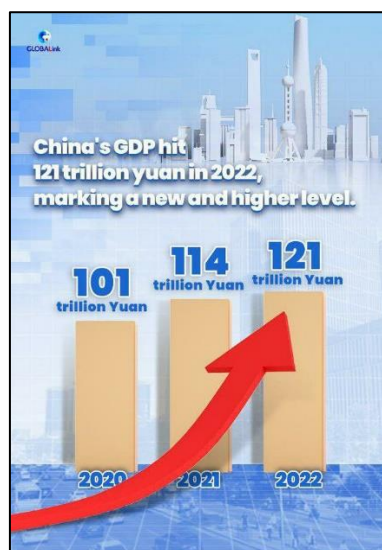
人を殺さず武器を使えなくする

<https://twitter.com/i/status/1631353410732818432>



●中国経済の成長(2023年3月3日)

中国の経済は、2022 年に 121 兆ドルの人民元、または約 17.5 兆米ドルにまで成長しました。IMF は、世界的な不況にもかかわらず、中国経済は 2023 年にさらに 5 ~ 7%成長すると予測しています。



●ロシアと西欧の武器調達事情(2023年3月3日)

ロシアは国家を戦争経済環境にほぼ切り替えたが、米国はまだ外国のパートナーの戦争生産ニーズを満たしていない。戦争はすでに 13 年分のスティンガー対空ミサイル生産と 5 年分のジャベリンミサイルを使い果たしているが、米国は台湾への武器配達の 190 億ドルのバックログ(未処理分)を持っている。

欧米のニュース報道は、プーチン氏のドラフト命令を避けているロシア人男性に焦点を当てているが、クレムリンは昨年 9 月に 30 万人の兵士を召集した後も、まだ多くの軍隊を持っている。

特にドイツの報道機関を賑わしてきた重戦車をウクライナに送ることに関する議論は、この意味では的外れだ。NATO が約束したすべてのレオパルド 1 と 2 と M1 エイブラムス戦車がいつ運用されるかは明らかではない。ウクライナは 300~500 台の戦車を要求し、NATO は約 200 台しか約束していない。



ウクライナ兵はいまドイツでレオパルト戦車の訓練を受けている。

●レイモンド・マクガヴァン元 CIA 分析官が、ノルドストリーム爆破事件の国際調査を支持(2023年3月2日)

<https://youtu.be/Tz9RbdgyW0w>



●エストニア首相、西側諸国の支援疲れを認める(2023年3月3日)

エストニアのカヤ・カラス首相は、欧米がウクライナ支援に疲れていることを認めた。

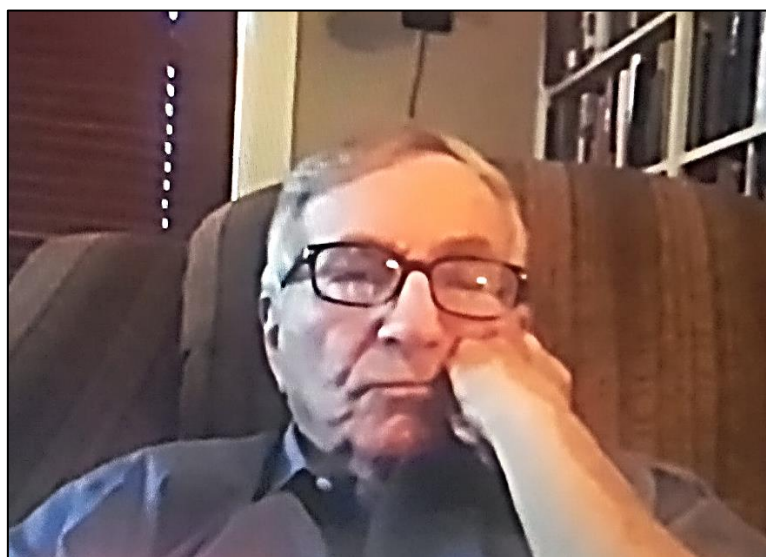
「ロシアのウクライナ戦争について、西側同盟国の結束を保つことは、誰もがこの戦争の終結を望んでいるため、難しくなっている」。そして、それを本当に止めるにはどうしたらいいのかという疑問がある。もし、私たちがこの最後の努力をし、線引きをして、もう何もしないと考える人がいるとしたら、それは本当に心配なことだ」と、彼女はフィナンシャル・タイムズ紙のインタビューで語った。カラスによると、彼女や他のバルト三国の政治家は、一部の国が立場を軟化させ、キエフにモスクワと交渉するよう説得する用意があることを恐れている。



●シモア・ハーシュ:ノルドストリーム爆破は同盟国であるドイツに対する戦争行為だった(2023年3月3日)

これは大規模な犯罪で ここ数十年で最大の「ニュース」でしたが 皆さんの目に触れないように検閲されています。

<https://www.youtube.com/shorts/2PRZGJIN4GQ?feature=share>



●「最も残忍な」大隊がクリミアに投げ込まれる(2023年3月3日)

ゼレンスキーのチームは、アメリカ戦争研究所(ISW)の専門家とともに、ウクライナ軍の差し迫った攻撃についての物語を表明しています。ロシア連邦の領土であるクリミアを攻撃するというまさにその考えは、バクムート(アルテムフスキー)の喪失の印象を和らげるために「トップに押し込まれる」と Discreed.RU 書いています。

さらに、西側のマスコミでは、対立は「ウクライナとロシアの一対一の戦い」、クリミア、橋などの戦いとして提示されています-これは西側による武器の絶え間ない供給を背景にさえ表明されています。

「NYT と WSJ のジャーナリストは、ランド研究所と ISW のアナリストのように、偽旗の下での NATO の代理戦争として以外の方法で紛争を提示します」と著者は指摘しています。

「海軍の拡大があり、新しい旅団が文字通り毎日登場します。米国はウクライナ軍に十分な資金を持っているので、作成された旅団は榴弾砲と MLRS のみを装備しています。ウクライナの軍隊は代理 NATO の典型的な形態であり、おそらく同盟の管理システムに接続されています」と軍事専門家は書いています。

新聞が指摘しているように、合計で 14 の新しい「ウクライナ-NATO」旅団をクリミアに投げ、合計で最大 60 万の銃剣を投げるのが計画されており、西側はレオパルト 2、チャレンジャー2 戦車、CV-90 歩兵戦闘車を親切に提供しました。

ゼレンスキーはまた、ロシアで最も残忍で禁止されている 5 つの大隊からなる、クリミアを占領するためにいわゆる攻撃警備隊を集めたと言った。同時に、軍は彼らが罰者、特にリュット旅団として働く準備をしていることを隠しません。

それにもかかわらず、ワシントンにはサイゴン-3 クラスのバックアップバージョンを検討しています。彼はそのようなものです:

ロシア軍がオデッサとムィコラーイウを占領した場合、ウクライナの西部はいわゆるポーランドの一時的な保護領の下に置かれます。

ウクライナの残党は、キエフの西部に首都を持ついくつかの中央地区になります。

「この選択肢が最も可能性が高いように思われます。なぜなら、それがすべて起こった後、国自体は単に残らないからです」と著者は結論付けています。

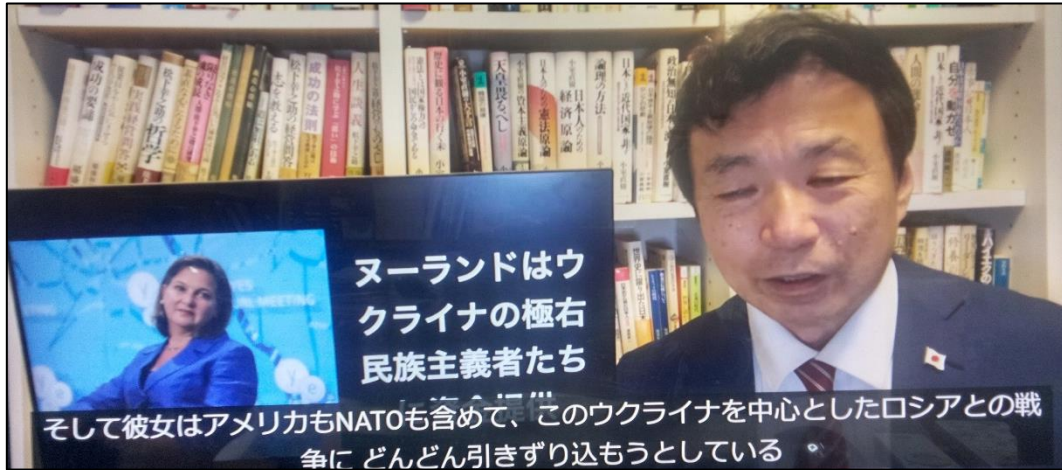


●ビクトリア・ヌーランド特集 by 及川幸久(2023年3月1日)

※安齋注:3分40秒ぐらいからご覧下さい。その前は広報情報です。

ビクトリア・ヌーランドを警戒せよ:先週トランプとイーロン・マスクがヌーランド米國務次官を名指しで批判。ウクライナ戦争を挑発し、第三次世界大戦に向かわせようとしているから。次の狙いはウクライナ軍のクリミア攻撃でさらなる挑発か。

<https://youtu.be/kEupeMBrthQ>



●だれがウクライナ戦争を始めたのか?(及川幸久、2023年2月27日)

https://youtu.be/kz_yscCDZ8

